教育家庭新聞

2018年（平成30年）

10月15日

月曜日

第2137号

神楽月・雪待月

貯蓄の日（10/17）
文化の日（11/3）
立　冬（11/7）

第3月曜日発行

教育家庭新聞社
発行所＝〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL：03（3864）8241㈹
FAX：03（3864）8245
郵便振替口座　1309－53693
購読申込み　☎03（3864）8241 Eメール kks@kknews.co.jp
ホームページ　http://www.kknews.co.jp/
創刊 昭和36年7月　©教育家庭新聞社　1部 450円

20代女性教師のメンタルに不安

部活指導、長時間勤務が要因

長時間勤務や休日出勤などの過重な勤務でストレスが蓄積されることは、メンタルヘルス悪化の要因とされるが、教員では他の年代に比べ20代、男性より女性の状態が不良となる傾向が明らかになった――文科省は先ごろ平成28年度教員勤務実態調査の分析結果を発表した。10年前との比較では長時間化が見られ、特に休日出勤の増加が顕著だった。

教職員勤務実態調査の分析

文科省は教員勤務実態調査の速報値を昨年4月に公表したが、今回は教員のストレス分析などの確定値を公表した。ストレスチェックは「K6」を活用。抑うつ、不安等の精神・心理的ストレス反応を評価する簡便な指標で、6項目の質問に対して、0～4点までを評価し、合計が5点以上で高ストレス状態とされる。職場環境のストレス診断に広く使われている。

今回の結果、平均すると小学校では校長3・57、副校長・教頭4・47、教諭5・49。中学校では順に3・72、4・45、5・69。小中共に管理職より教諭の方がメンタルヘルスの不良状態であるという結果だった。

■教諭に多いメンタル不良

さらに教諭を年代別にすると、5点以上の数値は20代が最も高く、どの年代でも男性より女性の数値が高かった。また全体的に小学校より中学校の方が高い傾向にあり、最も高い20代女性を比べると小学校より中学校は1点近く高い。

週当りの勤務時間数との関係でみると、5点未満だったのは、小学校男性教諭で60時間未満だったグループ。他は全て5点以上で、80時間以上のグループでは大半が7点以上。最も高かった小学校男性グループは8点近くだった。

【教員のストレス分析　K6平均値】

	小学校	中学校
校長	3.57	3.72
副校長・教頭	4.47	4.45
教諭	5.49	5.69

中学校の部活指導との関係では、「必要な技能を備えている」度合いで評価。男女共に備えていないグループほど数値は高く、「全く備えていない」男性群は7点、女性も7点近かった。5点未満だったのは「十分備えている」男性グループだけで、女性は技能が十分でも5点以上。男性に比べ女性は、部活がメンタルヘルス不良の要因になっているようだ。

■中学校教諭では土日は1時間増

10年前の平成18年度との比較で、小学校教諭の勤務時間数は、平日1日当たりの授業時間数が3時間58分から4時間25分になり27分増加した以外は、授業準備が1時間9分から8分増加して1時間17分、学習指導が8分から15分で7分増加など大きな変容は見られなかった。

中学校教諭では平日の勤務時間数が、10数分程度だったが全体に増加。特に土日の部活動・クラブ活動は、18年度1時間6分だったものが2時間9分となり1時間3分も増加した。

勤務時間の増加の理由について同調査では、教員の若年化と授業時数の増加を理由としている。30歳以下が、小学校で25・7%を占めて前回15・2%を大きく上回った。中学校でも24・2%で前回12・6%のほぼ2倍になる。

また週当たりの標準授業時間数は、平成20年度の学習指導要領改訂によって、小学校は1・3コマ（58・5分）、中学校は1コマ（50分）の増加になった。

『日本語を大切にしているか』(%)

	大切にしている	考えてみれば大切にしている	特に大切にしてはいない	大切にしていない
29年度	24.4	40.5	6.5	0.7
27年度	34.9	43.6	4.5	0.4
20年度	38.1	38.6	4.1	0.4

日本語「大切に」減少

文化庁 世論調査

文化庁が先ごろ発表した平成29年度「国語に関する世論調査」の結果によると、国語への関心や「正しく使うべき」などの意識を過去と比較すると高くなった一方で「大切にしている」度合いは減少したことが分かった。全国16歳以上の男女を対象に平成7年度から毎年実施、今回は回答数約2千人。

国語についての関心度について、「非常に関心がある」（17%）と「ある程度関心がある」（59・2%）を合わせると、76・2%が関心を持っている。12年度は73・1%、4年度は72・9%と比べ関心の度合いは高くなった。書き言葉や話し言葉がどうあるべきかでは、「正しく整えて使うべき」が47・6%で過去最高。20年度では33・3%で14%以上増えている。

「日本語を大切にしているか」の設問では、「大切にしていると思う」（24・4%）と「余り意識しないが考えてみれば大切にしていると思う」（40・5%）を合わせて64・9%が大切にしていると言える。しかし過去との比較では、27年度（78・5%）、20年度（76・7%）、13年度（69・1%）いずれよりも低い結果だった。

12月22日～24日

九州教育旅行現地視察会

参加者募集

九州の新たな学習素材に触れる

九州の豊富な学習素材を広く学校関係者に知ってもらうため「九州教育旅行現地視察会」の参加者を募集しています。

（主催：九州観光推進機構）

【実施日】12月22日（土）～24日（月）

【視察先】南九州3県／熊本地震からの学び、桜島火山体験、鹿屋平和学習等、決定し次第、下記の弊社ＨＰに掲載します。

【募集対象】主に関東・関西の学校関係者。先着順・定員15人。

【参加費】3万円／羽田又は伊丹空港から現地への往復交通費、現地移動中の交通・食事・宿泊・入場・体験・保険料含む。なお視察後、新聞掲載用レポート提出あり（原稿料支給）。

【申込み方法】FAXかEメールで、名前・勤務校（住所・電話・ＦＡＸ番号）を明記し、11月2日（金）までにお申込みください。追って申込用紙を送ります。

【申込み先】FAX03・3864・8245／メール kks@kknews.co.jp/HP からの申込みも可 www.kknews.co.jp

【その他】原則として先着順に受付け、申込まれた方には11月下旬までに結果を通知し、その後詳細を送付します。

■問合せ：教育家庭新聞社03・3864・8241

紙面案内

学校保健特集……2・3面
「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」を主題に、全国学校保健・安全研究大会が10月25・26日、文科省等主催で鹿児島市内で開催される。初日開会式では、学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰が行われ、2日目は課題別10協議会で協議や実践発表がある。

食育・学校給食……5面
9月下旬に開かれたフードシステムソリューション2018のセミナーでは、厨房メーカーによる食物アレルギー対策の施設事例の発表が行われた。空調、消毒設備から動線の設計などの取組が紹介された。

北海道教育旅行視察会……6面
震災復旧が進む北海道を、首都圏から高校教員の教育旅行視察会が訪問。同行取材により報告する。防災学習のフィールドワークや施設が充実した有珠山洞爺湖ジオパークを初め、白老町でアイヌ文化、室蘭で鉄を巡る産業学習などを体験した。

体験学習……7面
「天気とくらす」をテーマに研究している昭和女子大学附属昭和小学校4年生児童。出前授業で訪問した日本洋傘振興協議会担当者から、「傘」の成立ちから現在の製造方法、種類やマナーまで、その道のプロならではの話を聞いた。

学校図書館の整備状況……8面
学校図書館整備施策に関するアンケート調査一次集計が先ごろ公表された。図書費は1校当たり年間43万5788円（小学校）59万9124円（中学校）、予算算定方式は「児童生徒数×単価」とする自治体が最も多かった。

連　載

教職員のメンタルヘルス　第53回…1面
学校の感染症―予防の一首　第1回…2面
学校給食は食育の教材　第46回…5面
学校図書館なるほどＱ＆Ａ　第52回…8面

■Twitter
@kyoikukatei

■KKS Webはこちら→

連載　解決への手法と周囲の心得

日本教職員メンタルヘルスカウンセラー協会

教職員のメンタルヘルス　第53回

現場でニュートラルに向き合う

Q1：カウンセリングの際、気を付けていることは何ですか？

私の主な仕事は巡回相談です。なぜ、あえて学校訪問をしているかといえば、先生方の悩みは、その学校現場や職場から発生しているからです。当事者以外の関係者から、いくら有益な情報を頂いても、かえってそれがカウンセラーの中で変な先入観（例えば、先生はこうするのが当然である）となって、ニュートラルな状態で先生と向き合えなくなる危険性を回避するためにも大切です。

相手を「理解する」という言葉の中には、カウンセラー自身の枠組みを通して相手をみる（理解する）という意味が含まれており、それは必ずしも相談者の思いと一致しない可能性も含まれています。そこで私の場合には「相手の気持ちはわからないものだ」という前提から面接をスタートしています。だからこそ、できるだけ相手が興味関心のある世界の話を、「教わる気持ちで」聴くように努めています。

Q2：話の内容について管理職や養護教諭と本人の見解が食い違っていた時はどう対応しますか？

まず、本人の話を管理職たち側がしっかりと聞けているかどうかを確認するところから入ります。なぜなら、本人から語られていない話の中に、現状把握や問題解決を図る上での重要なヒントが隠されている場合があるからです。一方、本人の話をしっかり聞けたにもかかわらず見解の相違が起きている場合は配慮が必要です。

通常、人は程度の差こそあれ、無意識に「自分の都合のいいように」話をする傾向が強いからです。聴き手が本人の話を"鵜呑みに"してしまったケースの中には、本人の「思い」や「願望」と「事実」との「識別」がつかなくなり、同じ方向を向いたスタートラインにつけない場合があるからです。

その際、本人のプライバシーに最大限配慮しながら実施することは言うまでもありませんが、私たちが頼りにするのが事務主事や校務員さんたち。この方たちから頂く情報は、客観的な視点から語られる内容が多く、大変示唆に富み、臨床活動の一助となっています。

Q3：他のカウンセラーと教職員専門のカウンセラーとの違いとはどんなところにありますか？

スクールカウンセラー（今後は認定心理士）は、原則として、子供及び保護者のカウンセリングを行うことを主な役割と謳っています。子供や保護者の対応を考える際に、教員とのかかわりの中でコンサルテーション（作戦会議）を行うこともあるでしょう。しかし教師個人のカウンセリングにまで踏み込むことは稀だと思います。

一方、教職員メンタルヘルスカウンセラー（TMHC）の主な役割は、以下の条件を謳っています。

①教職経験が豊富で、学校文化や学校風土、教職全般に関する理解や造詣が深く、かつ心理臨床の専門教育を受けた方。

②一般教諭の面接だけでなく、管理職等に対する面接や具申も可能な人材であること。

③管理職研修や校内研修等における講演やグループワーク等を通して集団をまとめる・動かす・育むことができる人材。

以上の条件の中で特に①と②に該当するには、大学院等での心理臨床の専門教育を受けただけではなかなか対応できないということです。例えば、大学院を修了して数年しかたっていない若手のカウンセラーに、50代の先生方が実際に相談に行くかといえば、なかなか難しいのが現状のようです。

そこでTMHC採用の際には、追加条件として④教職経験15年以上（臨任の年数も含む）、もしくは学校臨床経験が15年以上の方。年齢でいうと40歳以上の方を想定しています。

……

筆者＝土井一博（どい・かずひろ）順天堂大学国際教養学部教職課程客員教授、日本教職員メンタルヘルスカウンセラー協会理事長、埼玉県川口市教育委員会教職員メンタルヘルスチーフカウンセラー

学校保健・安全研究大会 鹿児島会場で表彰

文部科学省は平成30年度の「学校保健及び学校安全表彰」及び「学校安全ボランティア活動奨励賞」の被表彰者等を決定した。鹿児島県・鹿児島市民文化ホールで10月25日に開催される、平成30年度全国学校保健・安全研究大会の会場で表彰される。

学校保健や学校安全の普及と向上に成果をあげた個人、学校、団体等を表彰するもの。

また、学校や通学路における子供の安全を見守る自主的な取組が多くの地域で行われており、子供の安心・安全な学校教育活動に貢献する優れた活動を行っている団体（町内会、商店街、自治会、ボランティア団体等）に学校安全ボランティア活動奨励賞を贈り、学校安全の振興に資する目的もある。

今年度の表彰対象は学校医62人、学校歯科医50人、学校薬剤師30人、校長4人、養護教諭7人、学校保健（学校）15校、学校安全（個人）1人、学校安全（学校）20校、学校安全ボランティア30団体。【4面に続く】

メタ認知で〈学ぶ力〉を高める
―認知心理学が解き明かす効果的学習法―
三宮真智子 著
A5判・176頁・本体1800円＋税
学習法や教授法における学術的根拠を読み切り形式で平易に解説。メタ認知の思考法に基づいた生涯を通して役立つ学習方略を提供。

一人ひとりをいかす評価
―学び方・教え方を問い直す―
C.A.トムリンソン・T.R.ムーン 著
山元隆春・山崎敬人・吉田新一郎 訳
A5判・248頁・本体2200円＋税
児童生徒の「違い」に対応した教育の評価とは何か。評価の時機や対象，理由を明らかにし，カリキュラムとの一体化をめざす。

北大路書房
〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8
TEL 075-431-0361 FAX 075-431-9393
http://www.kitaohji.com

刊・島・視・界

今秋の新作TVドラマで、人気俳優が演じる動物行動学者は、自分でも正解の分からない課題を学生たちに与えるなど、型破りな行動で周囲を騒がせる。"自ら解を求める"大学の授業にはあり得るが、"教科書を教える"授業では成立しないらしい▼中学校の教科書編集に携わったある教師は、正解がない例題の掲載は不可とされた経験がある。生徒に教師が説明できないから、というのがその理由。想像し、推測し、仮説を立てて実証していく面白さを味合わせたかったのだが、必要とされたのはよりたくさんの正解のインプットだった▼今年ノーベル生理学・医学賞受賞が決まった本庶佑・京都大学名誉教授は各取材の場で小中学生に、「知りたい」「不思議だ」と思う心を大切にしてほしいと呼びかけている▼投薬、放射線、手術に続く第四のがん治療手段である免疫治療という新境地を切り開いたとされる、免疫治療薬「オプジーボ」のもとになるたんぱく質「PD―1」を発見した画期的な研究実績。その研究者はまた、教科書や研究雑誌に書かれていることを鵜呑みにするな、自分の目で見て納得するまで諦めないのが研究者の条件であるとも語る▼今後はあらゆる分野で確実なAIの普及進展に対して、教育の場でもそのメリットをどのように取り込むか、議論が行われている。知識量だけでは意味がないことは明らかだ。

「教育家庭新聞」購読申し込み書

「教育家庭新聞」は毎月第3週に発行します。郵送でお届けします。電話・FAX、またはHPからもお申し込みいただけます。
購読者には、新聞紙に加えて、読者専用Webページにアクセスできるidとパスワードをお届けします。
1. 電話 03・3864・8241（弊社販売部）　2. FAX 03・3864・8245
3. ホームページアドレス https://www.kknews.co.jp/　（1部 450円）

お申し込み書（年間10回4500円）5・12月号が休刊です

お名前		
ご職業		
ご住所	〔自宅・通勤先〕（どちらかに○を）　（〒　－　）	
連絡先	電話　（　）	お支払方法
	FAX　（　）	ご連絡を頂き次第、郵便振替及び銀行振込の用紙をお送りします。どちらかでお支払いください。

2018年度は教育委員会セミナーを全国で9回!!
東京・大阪で高等学校教諭向けセミナーも開催!!

教育家庭新聞主催

IT機器の活用と管理、研修

教育家庭新聞社では、「ICT機器の整備と活用、校務情報化の推進」を目的とした教育委員会対象セミナーを年に9回、私立公立高等学校対象セミナーを7月に東京、3月に大阪で開催します。内容は、教育委員会・学校教諭によるICT機器の整備と活用、推進事例の講演及び企業によるプレゼンと展示です。

お問い合せ（株）教育家庭新聞社　電話03-3864-8241　http://www.kknews.co.jp

スケジュール（予定含む）

第49回教育委員会対象セミナー(東京)	2018年7月4日(水)	KFCホール
私立公立高等学校IT活用セミナー(東京)	2018年7月27日(金)	KFCホール
第50回教育委員会対象セミナー(京都)	2018年8月9日(木)	京都テルサ
第51回教育委員会対象セミナー(広島県福山市)	2018年8月22日(水)	福山商工会議所
第52回教育委員会対象セミナー(札幌)	2018年10月12日(金)	札幌コンベンションセンター
第53回教育委員会対象セミナー(大阪)	2018年10月26日(金)	CIVI研修センター新大阪東
第54回教育委員会対象セミナー(東京)	2018年12月5日(水)	KFCホール
第55回教育委員会対象セミナー(福岡)	2019年2月8日(金)	パピヨン24ガスホール
第56回教育委員会対象セミナー(名古屋)	2019年2月15日(金)	名古屋国際センター
私立公立高等学校IT活用セミナー(大阪)	2019年3月2日(土)	CIVI研修センター新大阪東
第57回教育委員会対象セミナー(金沢)	2019年3月27日(水)	金沢商工会議所会館